

東広島市立認定こども園とよさか

園の強みは自然！！

～楽しく主体的に遊べる保育環境づくりを目指して～

保育環境づくりのポイント

認定こども園とよさかのうりは自然。この自然を通して、子どもたちが自ら考え、行動できる保育を展開していきたい！でも、園庭のベストポイントに大きなデッドスペースが……。かつては楽しめていた場所を目の前の子どもにとって大切な空間へアップデート！子どもと楽しみながら、時には保護者・地域の方の力もお借りして自分たちの園庭を自らの力でつくることに挑戦しました。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかがわる力

取組み内容

端材で楽しもう！



ブレックコンポーネントさんでいただいた端材でベンチづくり！子どもができる部分は自分たちで！ノコギリやドライバーに興味津々！使う度に上達しています。はじめはベンチに座るだけでしたが、図書館など色々な遊びに発展しました！

こちらは端材で棚づくり。ネジが硬くて一生懸命頑張りました！園庭のウッドハウス横に設置すると、子どもたちの発想が爆発！外に出ると、ウッドハウスに一目散！コーヒー屋さん・焼肉屋。佐官業にペンキ屋さん遊びが広がり、何か月も続いています。



砂場づくり ～築山づくりに向かって～



園のデッドスペースを築山にしよう計画！

そのためには砂場の移設が必須！
移設場所決定！



穴掘り開始！
子どもたちは自然と掘った土を運んでいきます！
残ったのはコンクリートのベンチ・・・どうしよう。

保護者さんの協力のもと、コンクリートのベンチを粉砕！



子どもたち、保護者さん、地域の方とワークショップ



思ったより大変でしたが、得るものがそれ以上に大きかったです。環境を整える過程においても子どもたちの主体性が発揮されることに驚きました。子どもも大人も「まずは、やってみる！」大切さを感じました。